

〔浦崎 みゆき議員 登壇〕

○10番 浦崎みゆきさん 皆さん、こんにちは。一番眠くなる時間帯ですが、お互いに頑張っていきたいと思います。それでは読み上げまして、一括質問、一括答弁をお願いいたします。

大きな1番、南風原町男女共同参画計画「まじゅんプラン」について。(1) 男女共同参画条例の制定はどうなっているか。(2) 南風原町男女共同参画推進会議の状況を問う。

(3) 小中学校における男女混合名簿導入の状況はどうなっているか。(4) 審議会・委員会の女性比率は何%か。防災の分野に何人いるか。

大きな2番、「地域共生社会に向けて断らない相談支援体制」づくりにむけて。(1) 本町における相談件数の統計は取られているか。(2) コロナ禍において相談件数はどのように変化したか。(3) 市区町村の相談支援体制を強化する改正社会福祉法が成立し、来年4月施行に向け準備することが望ましいとあるが見解を問う。

大きな3番、「図書館パワーアップ事業」について。(1) 事業の進捗状況を問う。(2) 具体的な事業の内容を問う。(3) 本事業は新型コロナウイルス感染症対策であるが、今後の事業としてどのような見解か。以上、よろしくお願いいたします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目のまじゅんプランについて、(1) についてお答えします。現在、令和3年度の条例制定に向けて、他市町村の状況を確認しながら、内部で内容について検討しております。

(2) についてお答えします。男女参画推進会議においては毎年度開催しており、計画に明記されている各施策の進捗状況について推進会議に報告し、意見等を頂いております。

(4) についてお答えします。本町の各種委員会等における女性委員の登用状況については、令和2年4月1日現在34.3%となっています。しかしながら、防災分野の委員会については、ゼロとなっているため、今後女性委員の登用について検討してまいります。

質問事項2点目の「地域共生社会に向けた断らない相談支援体制」づくりに向けての(1) についてお答えします。町では児童等に関する相談、女性相談、生活困窮相談、その他の相談と分類しての統計、さらに相談内容の種別(虐待、不登校、離婚、DV、生活保護申請等)についても相談件数の統計を取っています。また、社会福祉協議会においても事業ごとに相談件数の統計を取っております。

(2) についてお答えします。収入減を起因とする相談は増えており、必要に応じて社協やパーソナルサポートセンターへの案内を行いました。コロナ影響での生活保護申請に至ったケース数については、昨年度に比べて増加傾向はありません。窓口へ相談に来た方への対応のみではなく、コロナ禍においては、過去に対応した世帯の中から生活困窮している世帯へのアウトリーチを行い、必要に応じて物資提供も行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、新たに相談があった件数は、国保税の減免及び徴収猶予の相談が120件、傷病手当金の相談が1件及び国民年金の免除相談が33件ありました。そして、中小企業を対象にした町支援事業の問合わせが毎日4件程度あります。以前、問合せの多

かった国、県事業の問合せは、現在はほとんどありません。

(3) についてお答えします。町では、相談業務を行っている課や、関係機関と定期的な会議の開催に加え、日頃から密な情報交換をしているため、どこに相談が来てもニーズに対応できる体制となっております。今後も、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の充実に努めてまいります。以上であります。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項1点目の男女共同参画計画の(3)についてお答えいたします。男女混合名簿につきましては、小学校では平成28年度から、中学校は令和2年度から導入を行っております。

質問事項3点目の図書館パワーアップ事業についてです。まず(1)でございます。電子図書館システム事業者の公募を、9月8日から南風原町ホームページにて開始、9月25日にプロポーザルを行い、選定された業者との契約を予定しております。

(2)です。事業内容は、電子書籍が読める環境にあれば、外出に制限がある場合でも24時間その場で書籍の検索、貸出し、返却、閲覧への対応、子育て世代向けや身体の不自由な方向けの朗読機能つきなど、多様な電子図書を配置します。また、これまで発刊された本町独自の資料の電子書籍化等となっております。

(3)です。様々な理由から外出に制限があるケースであっても「いつでも、どこでも、誰でも気軽に読書を楽しむことができる環境を整備するとともに、電子書籍を増やし、より利便性の高い図書館を目指してまいります。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 答弁ありがとうございました。それでは順を追って質問いたします。男女共同参画まじゅんプランについては、私もこれまで幾度となく質問を行ってまいりました。このプランは男女が共に支え合いながらまちづくりをしていきたいと思います。このプランは男女が共に支え合いながらまちづくりをしていきたいと思います。そのような観点から、進捗状況を踏まえ再質問をいたします。(1)についてです。条例でございますけれども、本町は南風原町まちづくり条例を平成26年1月1日に施行しております。本町のまちづくりに関する基本的事項を定めたものであり、それと同じで、男女が共同で参画する社会をつくるための条例ですので、これまでの意識改革以外にも、また新たな視点を取り入れた条例をなるべくお願いしたいと思います。答弁では、検討しておりますということでございますが、大まかなスケジュールなどがあればお願いいたします。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。まじゅんプランでは、条例の制定を後期期間、令和3年度までに計画、制定して普及することとなっております。今年度から次年度にかけて、推進会議のメンバー等にも、手法について協議をしながら策定に向けて

取り組んでまいります。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それでは、これから会議等にかけてやっていくということで、具体的に、何月までにこういったものとか、推進会議を開くわけですけども、推進会議を開いた後に、いろいろな文言の選定とかその辺は、具体的なスケジュールは決まっていないということよろしいでしょうか。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。推進会議を年明けに予定してしまして、年明けからこういった条例の制定について、こういった手法で制定していくかということも含めて、推進会議のメンバーと協議をしながら、令和3年度の制定に向けて取り組んでいきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 分かりました。是非、令和3年の条例を心待ちにしておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

それでは(2)の推進会議の状況でございますが、もちろん各課、各部署の毎年度の状況を皆さんのほうで取りまとめて、推進会議のほうにそういう状況を見ていただいている状況ではありますけれども、推進会議の男女比はどのようになっていますか。そしてまた、推進会議では意見がたくさん出るかと思いますが、どのような形で生かされているのかを確認いたします。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。推進会議の委員のメンバーは、令和2年2月に任期が切れていて、そのメンバーの構成は9人中女性が6名という比率になっています。あと、推進会議で交わされた意見につきましては、男女混合名簿についてだったり、中学生の制服関係についてどうかという意見等がありました。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 本町としては、取り組める意見に対しては、各課共に図ってそのように進めていっているということよろしいかと思います。推進会議の皆さんに資料などの提供があると思いますが、これから特に条例にかけてあると思うのですが、資料というのは当日配付なののでしょうか。当日であれば、理解や分析が不十分ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。条例等の案につきましては、もちろん事前に委員にお配りして、資料等につきましては事前に委員の方々にお配りして、目を通していただいて、意見について諮るということになっています。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それで安心いたしました。ありがとうございます。9人ということは足りないのですか。10名以内だからよろしいのでしょうか。できれば委員の定数いっぱいに持っていただいて、多様な意見を取りそろえての条例制定に向けて、審議会をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それから（3）の小中学校における混合名簿の状況ですけれども、本町においては小学校。そして中学校も、今年度、令和2年から導入ということで、新聞報道では、県も小学校で90%、中学校で88.6%、そして広がりを示しているということですが、本町におきまして、混合名簿の導入に際しまして、現場での困り事等、先生及び生徒のほうからそういったことがあるかどうか、お願いします。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。今回、小学校は平成28年度から導入しておりまして、現場からそういった声はございません。今年度から始めました中学校へ直接確認を行いました。混合名簿を始めて、特に困っていることはないという回答がございました。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。いろいろな名前があるから、男性なのか女性なのか、また体育時に困るということも耳にしたので懸念をしておりましたが、本町においてそれはないということで確認をいたしました。ありがとうございます。混合名簿は私も力を入れてきたところですので、小中共にできてうれしく思っております。

（4）の審議会・委員会の男女比でございますけれども、本年度は34.3%ということで、昨年質問をしたときよりは若干下がっております。それはどういった理由なのか。あとは防災分野においてゼロというのは、これはどうして、もともといたけどいなくなったのか。もともとゼロだったのか。よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。各種委員の女性委員の登用率の件につき

まして、平成30年度が34.6%、平成31年度が34.3%、0.3%下がっていますが、内容につきましては、委員総数で17名増えているのですが、そのうちの5名が女性委員ということで、登用率が若干下がっております。合計で言いますと、委員総数が306名で、そのうちの女性の登用が105人という率となっています。以上です。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えします。女性の数ですけれども、防災会議で当初17名の委員がいらっしゃったときには、南部保健所の所長と女性会からということでお二人いらしたのですが、現在13名の委員に減っているのですが、現在4団体減ってしまして、その中に保健所のお一人分と、女性会のお一人分、お二人分が現在減って、女性がゼロという状況になっております。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 今後、どのように女性委員を増やしていくかというお考えも持っていますか。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 先ほど副町長からもありましたとおり、今後、女性委員の登用については、しっかり検討していきたいと考えております。今回、予算を計上しておりますけれども、国土強靱化の部分についても、策定委員がございますので、事務局としては女性委員の登用を検討しているところです。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。声はかけるけれども、なかなかそこに参加しないというのが実情ではないかと私も考えているところですが、そこで、是非聞きたいことは、女性の人材育成につながるような、今、まじゅんプランでは海外研修補助金がありますけれども、そういった補助金を、そこにのみ充てるのではなくて、各種団体に、いろいろな分野での研修会とかがあると思いますので、そういったところにお声かけをしていただいて、費用もこちらのほうから算出できるような仕組みができないと、なかなか教育というところで、そこに手を上げるというのはなかなか難しくなってくるのではないかと、一人で多くの南風原町のまちづくりに、私の意見も取り入れていただきたいという仕組みづくりができないかどうか、この件について確認しておきます。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 答弁します。様々な場面で女性が活躍することは、町の活性化につながると考えております。そういったことを含めて、まじゅんプランを明記した各施策に取り組むことで、そういった女性が活躍する場を設けられると思いますので、この辺も含めて、研修会等を検討してまいりたいと思います。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それではよろしく願い申し上げて、この質問は終わりたいと思います。

次に「地域共生社会に向けて断らない相談支援体制」ということで、現在、どれぐらいの相談件数があるのかと。実はこの地域共生社会に向けてですけれども、地域では「8050」問題、もしくは介護をしながら子育てのダブルケアを兼ねているご家庭がたくさんいらっしゃるって、いろいろな問題を複合的に抱えていると。今までの相談体制としては、個別の事業で相談に行くわけですけれども、それが家族としてのいろいろな悩みがあるというところで、ワンストップ事業としての複合的な困り事を受け止めて、関連機関とつなげていくようにとの趣旨内容になっております。そこで、本町としては、どれぐらいの相談件数があるって、その統計は取られているのかというところが疑問になりまして質問をしておりますけれども、答弁によりますと、しっかりと統計は取られているということでございます。現在の、今の時点でよろしいですので、相談体制の流れを簡単に説明していただいて、もし事例などがあればお願いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 答えいたします。まず、相談の流れということについてですが、その前にもありましたように、いろいろな相談は、複合的、複雑化しているというのが、今ございました質問の趣旨でございますが、まさに窓口においては、我々こども課においては、子供を中心とした対応を事例に取り上げると、どうしても子供の育成の問題で来たときに、その背景に世帯全体の経済的な背景、あるいは発達に関する課題とか、そういったものの家族などの複合的な課題が背景にある場合がございますので、まずはこども課で受けたとしても、そういった経済的な背景、サポートセンター、あるいは社協につなぐとか、あるいは障がい担当につなぐという形で、こども課のほうから発信を通して各関係機関につないでいくという相談体制を取っております。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。この質問をするに当たりまして、各課からもいろいろと相談の受け方とか回答の仕方とか、その辺も確認をすることができました。私としては、この統計を取っているかということの質問の趣旨は、統計に基づいて各課、各部、また次年度の事業にそういった相談ごとを基に、そういった施策を組み入れることができないのかと。また、そういったことも取り入れられているのかということで、

質問をしておりますが、その点についてはいかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。統計に基づいてということですが、その根拠となるものが、我々は相談記録というものがございまして、やはり相談があった場合には、その記録を残していくのが大事だと考えております。それが結果的にカウントにつながっているのですが、その記録を通して、過去の相談状況も背景に、関係機関につながることでありますので、そういったことを地道に今後もやっていくものだと考えています。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 是非、そのような体制で、私もいろいろ町民から相談を受けて、取り次いだときに、南風原町はしっかりとその辺の取組がなされているというのは確認しておりますので、今の状態でしっかりとよろしく願いいたします。

(2) のコロナ禍においての相談件数ということですが、それぞれの立場でしっかりと機関につなげたり、アウトリーチを行っている答弁で安心をしているところです。産業振興課にお伺いいたしますけれども、現在は国、県の問合せは商工会や銀行などということではありますが、大体の数字とかは把握なさっていらっしゃいますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 コロナが2月から始まっていますけれども、2月から8月現在で、相談件数は、大まかに言いますと貸付業務とか雇用調整金の問合せ、持続化給付金の問合せ、県の休業要請の問合せ、合計で728件ありました。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。この728件は、しっかりと商工会なり、その辺の対応でやっているとということでよろしいですね。余談になるのですが、コロナ禍においての相談件数の中で、私が気になるところは、全国での自殺率の数字ですが、1,849人、前年より15.3%増えているということです。すみません、通告はしていないのですが、できればこういった今の社会状況を鑑みて、9月10日に厚労大臣は、生きづらさを感じている方々へと題した緊急メッセージなども発しております。本町においても、広報誌、またはホームページなどでしっかりとそういった相談電話の番号だとか、そういったものができればいいなと思っておりますので、是非その辺の周知、徹底をお願いしたいところでございます。これは余談でございました。

次に(3)の市町村の相談支援体制を強化する、これは、これまで社協ともしっかりと連携を取ってやっているというお答えでありましたし、私もそれは確認をしておりますけ

れども、これまでの相談支援体制というよりは、重層的な支援体制整備事業というのが新たに立ち上がっております。この中ではその柱が3つありまして、一つには断らない相談支援体制、それから参加支援型ということで、就労支援であったり、住居支援であったり、様々な機関とのつながり、それから③で地域づくりということで、困っている人たちの、そのときの場の困り事解決だけではなくて、さらに地域でそういう孤立を防いでいこうというものの3本柱で、新しくでき上がって、来年の4月に向けての施行になるわけですが、私がこれを取り上げましたのは、来年4月1日に向けて、今後こういう体制づくりがされていくものですし、できましたらその3つがセットでやる事業に対して、補助金等も別途あると。今まではそれぞれあったわけですが、そういったものが南風原町の現在の支援体制であれば、容易に、本当に今までやっているものを生かしてできるように考えているわけです。手上げ方式というところもあるのですが、実際的に、例えば今まで多様な困り事、本人が相談に来ない限り、相談事業としても分からなかったわけですが、先ほど課長がおっしゃったように、背景も捉えてしっかりとやっているということでしたので、さらにいろいろな、どこに相談に行っても、もう一步踏み込むことのできる、そういった支援体制と整備事業となっておりますので、なおかつ関係機関として、地域も、今後この方を地域みんなで守っていこうという内容でございますので、これに向けての体制づくりは、本町としてどのように取り組んでいくかという姿勢というか、考えをお伺いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 答えいたします。今ご質問のありました法改正についてですが、我々のほうも情報収集に努めているところでございますが、ここで言っています地域共生において、重層的な支援を行っていくという部分について、こども課においては子供、あるいは生活困窮、別の部署においては障がい担当、高齢者など、いろいろな相談窓口がありますが、社協も含め、そういったところをいかに連携して、また相談者が発する内容を解きほぐして、いろいろな各機関につないでいくという技術が、我々は求められているものだと思います。そういった意味で、こども課においては、社会福祉士の配置ができていますのでございまして、そういった意味で、相談体制の内容に対応できるようになっているところでございます。しかし、引き続き法改正の背景を受けて、この部分をもっとより意識して連携を深めていく必要があるとも考えております。また、手上げ方式の事業についてですが、今回の法改正を前に、厚労省のほうからいろいろな情報が届いているところでありますが、先週、Q&Aも届いておりますので、そういった中においても、まだ国の予算審議過程において、今後検討していくという内容でございます。そういった動きも注視しながら、事業を実施できるか、民生部内で検討していきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん まさに私の質問の趣旨は、まず取り組んでいただいて、中心となるのはこども課になるかと思いますが、どこが主要部署となって、例えば地域づくりま



でこういった形で進めていくかという、構想的なものを、補助金云々というよりも、それに向けての体制づくりを、是非今から検討しておいていただきたいということで、今回の質問をしております。第5次総合計画の町民アンケートでは、どんなまちになったらいいかということで、75.2%の方が、医療、介護、そしてそういう体制が整って、高齢者、障がい者、みんなが安心して暮らせるまちと答えております。本当に、来年の施行に向けてこれからだと思いますが、既存のいろいろな壁を超えて、包括的支援を取り組めるように、本当に町民が安心して暮らせるように、南風原町にいたら安心だよと言われるような体制づくりを是非進めていただきたいことを望みまして、この質問は終わります。

次に図書館パワーアップ事業でございますけれども、図書館パワーアップ事業を、私は広報で、補正予算のときから聞いて、すごくいい事業だと思っておりました。やはり新型コロナの影響で、全国の図書館では電子書籍の貸出し件数が増えているという記事も見まして、自宅で借りられることとか、3密を避けられるとか、いろいろ需要が高まっておりますけれども、本町の広報紙9月号に掲載をされておまして、それを見て町民の反響とか状況はどうだったかというのと、スケジュール的なことをもうちょっと詳しく教えてくださいませんか。私は9月から始まるものだと思っていたので、まだということですので、よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ただいまのご質問にお答えいたします。広報等、あるいは新聞、マスコミ等で報道いただきまして、その後、反響としましては、町民の皆様から、確かにいつから始まるのですかと、あるいは他の自治体からも、どのように進めているのですかと、いろいろお問い合わせをいただいているところであります。そんな中、皆様に補正も認めていただいた後に、マスコミ報道に関しては、一部自分たちも早ければ9月ということで、そのように答えているところがあったのですが、いろいろ調査をしていくうちに、事業者の皆様との調整等がありまして、先ほど教育長からお答えがありましたように、先日25日にプロポーザルが終了いたしまして、その上決定しました優先交渉権者の事業者と、契約に向けて内容を詰めているところであります。今月中、今週中には、この後詰めていって、運用に関しましては、当初事業者からは、90日はいただきたいというお話があったのですが、90日では少し長いので、もっと詰めて、早ければ10月末までには一部運用開始といいますか、一気に全部の貸出しではなくて、段階を追って冊数を、最初に半分とか、あるいは4分の1とか、冊数を詰めながら運用開始に持っていきたいと、スケジュール的には考えているところです。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 反響のすばらしさは想定される範囲内でありました。スケジュール的に見ると、ちょっとよく分からなかった。10月の上旬、中旬、下旬、どちらから使えるのでしょうか。そして一部というのはどういう意味合いの一部なのか、再度お願いします。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 分かりづらくて失礼しました。10月下旬を想定しています。導入書籍につきましても、一気にすぐ10月下旬に間に合わせるではなくて、できるものから段階を追って導入して、貸出し、閲覧ができるように整備していきたいと考えております。以上です。今の補足いたしますが、10月の下旬に一部というのは、司書の皆さんの書籍選定等をしていただきながら、まず早めに皆さんに運用できるものから貸出しできるように整備していきたいと考えているということでもあります。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 10月下旬に、新聞報道による2,000冊ぐらいと聞いていますけれども、全体としては2,000冊の中から部分的に、司書さんに選んでいただいた書籍をアップしていただくという感覚でよろしいんですかね。あとは使い方というか、町民の使い方としては、どのような形でいくのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 今、議員からありましたように、今年度は2,000冊の整備を予定しております。その中で、先ほど言ったできるものから整備していく。先ほど10月下旬と言ったのは、その中から、例えば1,000冊、500冊、展開できるものを先に導入していきたいと考えているところです。使い方に関しましては、電子媒体のスマホ、タブレット、パソコン等の電子機器等を介して、町民の皆様が、利用者がID、パスワード等を登録することによって、一旦登録した後に関しては、町内の自宅にいながらにして、いつでもどこでも、貸出し、返却、閲覧等ができる仕組みとなっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 今のスケジュール的なこととか内容を、私が探せなかったのかどうか、ホームページの図書館のところに入っていったのですが、いつからですよとか、その辺の表示というのはされているのでしょうか。されていたらされているでいいのですが、もしされていなければ、やはり心待ちにしておりますので、しっかりとそういった広報活動をしていただきたいと思いますと思いますが、まずされているのかお聞きします。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 まず広報等に関しましては、25日にプロポーザルが終わりましたので、その後すぐに、次回の広報、直近で間に合うのは11月号に掲載できる範囲で、始まりますということで、お知らせの文面を掲載依頼しております。それ以外とし

ましては、ホームページでも決まり次第というか、詳細のほうを広報していきたいと考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん まだはっきりとしたどれを載せるというのが分かっていなければ、開始時期は大体このぐらいですよというところまでは、是非お願いしたいと思っております。

それから（２）に行きますけれども、最後のほうに、本町独自の資料の電子書籍化というのがあるのですが、本町独自の資料は、例えば永久的な著作権というのはどうなのでしょうか。町が有するものなののでしょうか。その辺を確認させてください。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ただいまのご質問にお答えいたします。まず、本町独自の資料というので私たちが想定しているのは、文化センター等で所蔵しております、町の所有する書籍等の電子書籍化を行って、今回の図書館パワーアップ事業で本町独自の資料として電子図書として展開していきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午後 2 時34分）

再開（午後 2 時34分）

○議長 玉城 勇君 再開します。生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 権利についても、本町が所有しているもの、文化センターにある本町に権利がある書籍を電子書籍のほうで展開していきたいと考えています。

〔浦崎みゆき議員より「休憩願います」の声あり〕

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午後 2 時35分）

再開（午後 2 時36分）

○議長 玉城 勇君 再開します。10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。そうすれば本当に、なかなか図書館では貸出ししないじゃないですか、そういったあれは。そういったものが見られるのはすご

くいいことだと思いますので、南風原町独自の資料はどれぐらいの冊数を考えていらっしゃるでしょうか。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 今、150冊前後を想定しております。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。図書館の現状を伺いたいと思います。現在本町にある所蔵は何冊で、どれぐらいの貸出し数があるか。そして月の来館者はどれぐらいいらっしゃるのでしょうか。分かる範囲でよろしいですのでお願いします。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ただいまのご質問にお答えいたします。今現在の本町図書館に所蔵している冊数としましては、雑誌等も含めまして3万6,470点となっております。貸出し冊数につきましては、手元の資料は平成30年度の資料でございますが、1年間で9万2,691冊、月平均にしますと7,734冊、一日平均で345冊ということになります。続きまして来館者数であります。同じく同年の来館者数は1年で5万7,516人、月平均にしますと4,793人、一日平均で215人となっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。来館者数もかなりの数に驚いておりますが、それだけ本町において、この図書館は大きな意味を持っているものだと思います。私は、今後も電子図書については、答弁にありましたけれども、これは3月終了後も継続するという旨で理解してよろしいのでしょうか。確認します。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ただいまのご質問にお答えいたします。今回、事業スタートとしては、コロナ事業でスタートいたしましたが、もちろん次年度以降も、紙の本、あるいは電子書籍、バランスよく整備していきまして、電子図書には電子図書のメリットといいますか、たくさん有していますので、そういったものを生かしながら、先ほどから出ております南風原町の利用者の方、老若男女全ての方に優しい図書館を目指して、推進してまいりたいと考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。私も是非そうしていただきたいという思いで質問をしております。本町の図書館は、規模的には決して大きくありません。通常でしたら、紙媒体はその規模に応じた蔵書冊数しか置くことができなかったものですが、このコロナ禍によって、電子図書であれば、本当に少なくとも置く場所に困ることはありませんので、業者にもよりますけれども、いろいろと貸出し予約、返却の必要も、返却期限が過ぎたら自動的に返却されるというシステムもあるようですので、本当にいいことづくめではないかと思います。答弁にもあるように、日中来られない方とか、子育て中だとか、そういった方にも、本当に町民に役立つサービスだと思いますので、是非事業の継続を検討していただきたいと申し上げたいと思います。最後に、教育長のご決意があればよろしく願いいたします。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 今、全て浦崎議員がおっしゃったとおりだと思います。以前から、議会からも町民からですが、本町の図書館の物理的なスペースとしては、やや狭隘ではないかと言われているのですが、電子書籍に関しては、サーバーもこちらに置く必要もないし、業者とのサーバーの通信でやります。おっしゃったように、図書の整理の手間も省ける、貸出しとか返却していないものの管理も省けるということで、我々が分かるようにいうと人手も非常にかからない、少ないということがあります。時間と距離の制約もなくなる。社会的な外出の制約、それから個人的なもろもろの事情でなかなか外出ができない皆さんにも、これは読める条件というのが一つ必要なのですが、それをクリアしていただければ、いろいろな方に楽しんでもらえるということでございますので、多くの皆さんに楽しんでいただけるような電子書籍、それから紙媒体の書籍を整備して、いろいろな方に、読書を楽しむなり、自己啓発に努めるなりやっていただくように、今後また研究して、事業の提案もしていきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 本当に楽しみにして、今日の質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。